

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	木造住宅の安定性・信頼性向上のための供給体制整備事業		事業開始年度	平成20年度	作成責任者	
担当部局庁	住宅局		担当課室	住宅生産課木造住宅振興室	室長 越海 興一	
会計区分	一般会計		上位政策	住宅の取得・賃貸・修繕が円滑に行われる住宅市場を整備する		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	住宅市場整備推進等事業費補助金交付要綱		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	木造住宅の安全性・信頼性向上の観点から、既存木造住宅の耐震改修の促進や、構造計算書偽装問題を受けた建築確認・検査制度の見直しの円滑施行を図るため、木造住宅の耐震診断・耐震改修や木造軸組構法住宅の構造計画に関する中小住宅生産者の技術力向上への取組を支援する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	木造住宅の安全性・信頼性向上に係る中小住宅生産者の技術力の向上等を図るため、①既存木造住宅の耐震改修に係る技術講習会や耐震診断法の見直しに向けた試験、調査、②構造計算書偽装問題を受けた建築確認・検査制度の見直しの円滑施行に向けた木造軸組構法住宅の適切な構造計画に係る技術講習会を実施する事業者に対して、事業の実施に要する費用を補助する。事業者の選定については公募による。 (補助率:定額)					
実施状況	<p>【平成21年度実績】</p> <p>① 既存木造住宅の耐震改修の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震診断・改修に係る実践的講習会 6回、約300名受講</li> <li>耐震改修に係る技術講習会 51回、約3,300名受講</li> <li>耐震診断法の見直しに向けた耐力要素の評価試験、実際の震災による被害状況調査の実施</li> </ul> <p>② 建築確認・検査制度の見直しの円滑施行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構造計画に係る技術講習会 50回、約3,200名受講</li> </ul>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	600	200	150	0
	執行額	-	600	200		
	執行率	-	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	これまで採択を行った事業者からの事業実施報告を通じて、支出先・用途及び事業の目的・効果を把握。				
	見直しの余地	木造住宅の安全性・信頼性向上の観点から、既存木造住宅の耐震改修の促進等に係る中小住宅生産者の技術力の向上は引き続き重要な課題であることから、平成23年度予算要求に当たっては、限られた予算の中でより効果的な施策となるよう検討する。				
チームの所見・効率化	<p>【抜本的改善】</p> <p>事実上、特定の社団法人二者への補助が続いているものであり、これまで事業評価がなされているとは言えない。これまでの事業に対する客観的効果が認められない場合は廃止も含めて抜本的な見直しが必要。継続する場合でも、実施主体の公募要件の見直しなど、競争性の向上が不可欠。</p>					
補記	<p>(参考1)新成長戦略(基本方針)[平成22年6月18日閣議決定]</p> <p>第3章(4)観光立国・地域活性化戦略</p> <p>「地域材等を利用した住宅・建築物の供給促進を図る。」</p> <p>「2020年までに耐震性が不十分な住宅の割合を5%に下げ、安全・安心な住宅ストックの形成を図る。」</p> <p>(参考2)国土交通省成長戦略[平成22年5月17日国土交通省成長戦略会議]</p> <p>3)課題に対応した政策案(早期に実現を目指すもの(平成23年度概算要求を含む。))</p> <p>④環境にやさしい木造住宅の供給促進に向けて、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>i)森林所有者、製材工場等と連携した木造展示住宅の建設と、木造住宅における木材の生産流通過程や環境負荷低減効果などの情報表示を支援する。</li> <li>ii)木造住宅・建築物のコスト低減と品質向上を図るため、型式の標準化を行う。</li> <li>iii)公共建築物等における木材利用を促進する。</li> </ul> <p>(参考3)公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律[平成22年5月26日公布]</p> <p>(住宅における木材の利用)</p> <p>第十七条 国及び地方公共団体は、木材が断熱性、調湿性に優れ、紫外線を吸収する効果が高いこと、国民の木造住宅への志向が強いこと、木材の利用が地域経済の活性化に貢献するものであること等にかんがみ、木材を利用した住宅の建築等を促進するため、木造住宅を建築する者に対する情報の提供等の援助、木造住宅に関する展示会の開催その他のその必要の開拓のための支援その他の必要な措置を講ずるよう努めるものとする。</p> <p>【予算科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・005 住宅市場整備推進費</li> <li>・95 住宅市場の環境整備の推進に必要な経費 (21年度予算額) (21年度決算見込額)</li> <li>・95016-2405-16 住宅市場整備推進等事業費補助金 200百万円 200百万円</li> </ul>					

国土交通省  
200百万円

中小住宅生産者の技術力の向上等を図るために行う、  
木造住宅の耐震改修の促進のための調査、普及や木  
造軸組構法住宅の適切な構造計画等の普及の取組み  
に対して補助



【公募・補助】

A. 民間事業者等(2者)  
200百万円

木造住宅の耐震改修の促進のための調査、普及や木  
造軸組構法住宅の適切な構造計画等の普及の取組み  
を実施

A. 一般社団法人 木を活かす建築推進協議会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	講習会運営補助費等	117			
需用費	印刷製本費等	27			
委託費	テキスト作成費等	19			
謝金	委員・講師謝金	5			
人件費	業務担当者人件費等	4			
その他	旅費、賃料等	1			
計		173	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。使途と費目の  
 双方で実情が分かるように  
 記載)

【別 紙】

A.民間事業者等(2者) 200百万円		
No.	支出先	金額 (百万円)
1	一般社団法人 木を活かす建築推進協議会	173
2	一般社団法人 工務店サポートセンター	27
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		